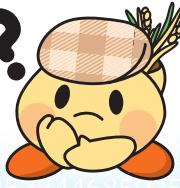


3.141592653589793238462643383279502884197169399375105820974944592307816406286208998
6280348253421170679821480865132823066470938446095505822317253594081284811174502841
027019385211055596446229489549303818142881997566593344612847564823378678316527120
19091456485
262.0 1,112 94,802
5,292 ? 99.2
38,243 5,345



数字で振り返る岩見沢

第5回 毎日使う水の循環

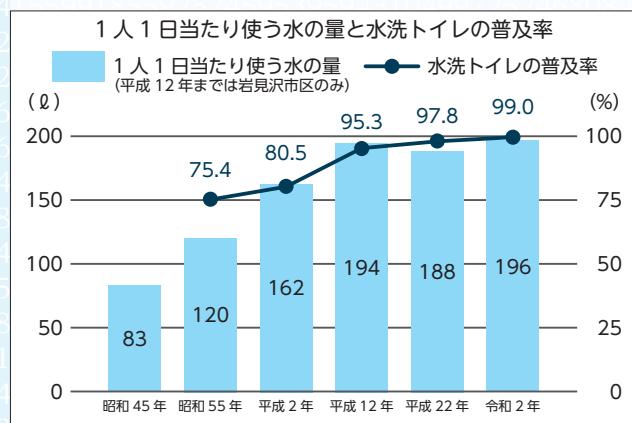
今月の数字 ペットボトル 100 本分

お風呂やトイレ、料理や洗濯など、私たちが日常生活で使う水の量は、1人1日当たり約200リットル、2リットルのペットボトル100本分になります。50年前と比べて2倍以上に増えています。まだ水道がいきわたっていなかった頃は、川の水や井戸の水を汲み上げて利用するなど一苦労でした。昭和32年に桂沢ダム、翌年に浄水場が完成し、配水池、水道管を順次整備したこと、安全安心な水を家庭に届けられるようになり、昭和30年代から40年代前半にかけて水不足が解消されていきました。



家庭で使った水は、下水道管を通じて処理場に届き、きれいな水にしてから川に流しています。下水道管がない地域では、浄化槽が使われ、汚れた水をそのまま流さない仕組みになっています。下水道管が普及する前は、し尿を農作物の肥料として活用していましたが、伝染病の原因ともなっていた蚊やハエの発生など衛生管理が課題でした。そこで、昭和20年代後半から人口が集中する地区を中心に下水道整備が進み、昭和40年から南光園処理場でし尿の衛生処理が開始、昭和48年からは水洗トイレが普及し始め、令和2年では処理区域内の99パーセントに当たる約37,000世帯が下水道施設を利用しています。また、南光園処理場では処理過程で発生する汚泥を肥料化し、資源の有効利用も進めています。

私たちの生活に欠かすことができない水道水を維持するため、市は漏水の原因となる古くなった水道管を計画的に交換しています。家庭でも、漏水がないか点検する、ごみや油を流して水を汚さない工夫をすることから水の循環を考えてみませんか。



人の動き (令和6年6月30日現在)

- 住民基本台帳 人口 男 34,893人 (前月比 - 56)
女 39,825人 (前月比 - 50)
総数 74,718人 (前月比 - 106)
世帯数 40,625世帯 (前月比 - 26)

岩見沢市役所

068-8686 北海道岩見沢市鳩が丘1丁目1番1号

0126-23-4111 (代表) FAX 0126-23-9977

ホームページ

<https://www.city.iwamizawa.hokkaido.jp>



X (旧Twitter)



Facebook



Instagram



LINE

発行・編集 岩見沢市総務部秘書課広報室